

# 参院選勝利へ結束

## 民主県連 「政権に立ち向かう」



民主党県連の定期大

会が20日、水戸市内のホテルで開かれ、党員やサポーターらが夏の参院選で茨城選挙区から出馬を予定する党公認の現職・郡司彰県連会長の勝利に向け結束することを確認した。さらに執行部は次

参院選での勝利に向け結束を確認し合った民主党県連定期大会「水戸市三の丸

期衆院選に向け、立候補予定者が空白区となつている茨城2、3、4、7区の総支部長擁立を急ぐ方針も示した。

大会冒頭、郡司会長は閣僚の資質が問われている問題が相次いでいるにもかかわらず、内閣支持率が下がるよりも微増している点に触れ「私たちは真摯にこの原因を捉える姿勢を失ってはいけない」と指摘。その上で、安倍政権打倒に向けた野党結集に関し、「既成の概念に固まらず、政権に立ち向かう勢力の

結集を大胆に模索する道をちゅうちょしてはならない」と呼び掛けた。

続いて現在約6400人の党員・サポーターを8千人に増やすことなどの活動方針と、県連会長に郡司氏が再任する案をそれぞれ承認。長谷川修平幹事長(県議)の再任も確認された。

このほか郡司氏の参院選総合選挙対策本部を4月15日に立ち上げ、大畠章宏衆院議員が本部長に就くことも報告された。

(小池忠臣)